

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	モノタロウ ガラス用クリーナー		
会社名	株式会社MonotaRO		
所在地	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階		
担当者名	商品お問合せ窓口		
電話番号	0120-443-509	FAX番号	0120-289-888
緊急連絡先	所在地と同じ		
推奨用途及び使用上の制限	ガラスクリーナー		

2. 危険有害性の要約

GHS分類			
物理化学的危険性	引火性液体		区分外
	自然発火性液体		区分外
健康有害性	眼に対する重篤な損傷性または眼刺激性		区分2A
	発がん性		区分1A
	生殖毒性		区分1A
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）		区分2（肝臓）
ラベル要素			
絵表示			
注意喚起語	危険		
危険有害性情報	強い眼刺激 発がんのおそれ 生殖能または胎児への悪影響のおそれ 長期にわたる、または反復ばく露による肝臓の障害のおそれ		
注意書き			
安全対策	使用前に取扱説明書を入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 保護手袋、保護眼鏡、保護衣、保護面を着用すること。 ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。		
応急措置	眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。		
保管	容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。 関係者以外が触れないように保管すること。		
廃棄	内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。		

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物	混合物				
	化学物質名	官報公示整理番号		CAS No.	濃度または濃度範囲
	化審法	安衛法			
水		対象外（天然物）	既存	7732-18-5	90～95%
エタノール		(2)-202	既存	64-17-5	3～8%

2-アミノエタノール	(2)-301	既存	141-43-5	0.3～ 0.8%
アルキルポリグルコシド	(5)-6337	8-(4)- 1112	132778-08-6	0.3～ 0.8%
ドデシル(スルホフェノキシ)ベンゼンスルホン酸二ナトリウム	(3)-1968	既存	28519-02-0	0.3～ 0.8%
香料	不明	不明	不明	0.01～ 0.10%
青色染料	不明	不明	不明	0.005～ 0.008%

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	皮膚を速やかに流水またはシャワーと石鹸で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当を受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当を受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 気分が悪いときは、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤 使ってはならない消火剤 特有の危険有害性	粉末消火剤、二酸化炭素、水噴霧、耐アルコール性泡消火剤。 棒状注水。 可燃性物質：燃えるが、容易に発火しない。 加熱により容器が爆発するおそれがある。 吸入すると有害となるおそれがある。 接触により皮膚や眼に炎症を起こすおそれがある。
特有の消火方法	火災時に刺激性、腐食性及び/または毒性のガスを発生するおそれがある。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火を行う者の保護	消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 空気式呼吸器（SCBA）を着用する。 防火服は火災時に限られた防護をするに過ぎない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急処置	直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外は近づけない。 風上に留まる。 低地から離れる。 作業者は適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。 乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。後で廃棄処理する。 危険でなければ漏れを止める。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
--------------	---------------------------------------

安全取扱注意事項	使用前に使用説明書を入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 火気注意。 眼や皮膚への接触、吸入または飲み込まないこと。 空気中の濃度を暴露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。
接触回避 衛生対策	『10. 安定性及び反応性』を参照。 取扱い後はよく手を洗うこと。
保管 安全な保管条件	酸化剤から離して保管する。 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。 関係者以外が触れないように保管すること。
容器包装材料	包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

化学物質名	管理濃度	許容濃度 (ばく露限界値)	
		日本産業衛生学会 2015年版	ACGIH 2015年版
エタノール	未設定	未設定	STEL 1000ppm
2-アミノエタノール	未設定	3ppm(7.5mg/m ³)	TWA 3 ppm STEL 6 ppm
アルキルポリグルコシド	未設定	未設定	未設定
ドデシル(スルホフェノキシ)ベンゼンスルホン酸二ナトリウム	未設定	未設定	未設定

設備対策
本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
空気中の濃度を制御するには、一般適正換気で十分である。

保護具

呼吸用保護具
手の保護具
眼の保護具
皮膚及び身体の保護具
換気が不十分な場合には、適切な呼吸器保護具を着用すること。
必要に応じて保護手袋を着用すること。
適切な保護眼鏡を着用すること。(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)
必要に応じて保護衣、顔面用の保護具を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観 (物理的状態、形状、色)	液体、青色透明
臭い	微臭
臭いの閾値	データなし
pH	10.5-11.5 (25°C)
融点・凝固点	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	引火点なし
蒸発速度	データなし
燃焼性 (固体、気体)	適用されない
燃焼または爆発範囲の上限、下限	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度(空気=1)	データなし
比重(相対密度)	0.99-1.00 g/cm ³
溶解度	水に可溶
n-オクタノール/水分係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
粘度 (粘性率)	<50 cP

10. 安定性及び反応性

反応性	酸化剤と反応する。
化学的安定性	通常の条件においては安定である。
危険有害反応可能性	過剰な圧力または熱を放出する危険有害な反応または重合は起こらない。
避けるべき条件	日光、高温。
混触危険物質	強酸化剤、強酸、強塩基。
危険有害な分解生成物	燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物を発生する。

1 1. 有害性情報

急性毒性	
経口	データ不足のため分類できない。
経皮	データ不足のため分類できない。
吸入（蒸気）	データ不足のため分類できない。
吸入（粉じん）	データがなく分類できない。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性または眼刺激性	2-アミノエタノール、アルキルポリグルコシド、ドデシル(スルホフェノキシ)ベンゼンスルホン酸二ナトリウムが区分1で、区分1の成分濃度x10 の合計が濃度限界(10%)以上のため、GHS:区分2A「強い眼刺激」に該当する。
呼吸器感受性	データ不足のため分類できない。
皮膚感受性	区分1(2-アミノエタノール)の濃度が濃度限界(1.0%)未満であるため分類されない。
生殖細胞変異原性	データがなく分類できない。
発がん性	エタノールが区分1Aで濃度限界(0.1%)以上のため、GHS:区分1A「発がんのおそれ」に該当する。
生殖毒性	エチルアルコールが区分1Aで濃度限界(0.3%)以上のため、GHS:区分1A「生殖能または胎児への悪影響のおそれ」に該当する。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データがなく分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	成分濃度が濃度限界(≥1.0%、<10%)の区分1の成分はエチルアルコール(肝臓)であるため、GHS:区分2(肝臓)「長年にわたるまたは反復ばく露による肝臓の障害のおそれ」に該当する。
吸引性呼吸器有害性	データがなく分類できない。

1 2. 環境影響情報

水生環境有害性（急性）	データ不足のため分類できない。
水生環境有害性（長期間）	データ不足のため分類できない。
オゾン層への有害性	モントリオール議定書の附属書に列記されたオゾン層破壊物質を含まないため分類されない。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1 4. 輸送上の注意

国際規制	
海上規制情報	非危険物
航空規制情報	非危険物
国内規制	

陸上規制情報	非該当
海上規制情報	非危険物
航空規制情報	非危険物
特別の安全対策	輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れを生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。 重量物を上積みしない。
緊急時応急措置指針番号	なし

15. 適用法令

労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号・別表第9）（エタノール、2-アミノエタノール） 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号・別表第9）（エタノール）
化審法	優先評価化学物質（法第2条第5項）（2-アミノエタノール）

16. その他の情報

連絡先	株式会社MonotaRO
参考文献	NITE GHS分類公表データ ECHA C&L Inventory Database

注意

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学または技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。なお、新しい知見及び試験等により改正される事があります。また、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものです。全ての化学製品には、未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願い申し上げます。